

## 菺野町の「コレカラ」を考える



わたしたちが住んでいるまち、菺野町。道路が通り、住宅が立ち並び、川が流れ、自然豊かな環境の中にまちが形成されています。そんな菺野町はあなたにとって住みやすいまちですか。それとも住みにくいまちですか。

今月号では、住民の皆さんの声を町政運営に反映させていくために行った町民アンケートの結果とともにこれから策定する次期総合計画についてお伝えします。「総合計画って何?」「菺野町ってこれからどうなっていくの?」。そんな住民の皆さんの素朴な声がこの菺野町を大きく変えるきっかけになるかもしれません。「コモノのコレカラ」、一緒に考えましょう!

## 約82%が住みやすいまちと回答



和元年度に実施した町民アンケートでは、菺野町の住みやすさについて「住みやすい」と答えた方は全体の約82%でした。全ての年代で約72%の方が「住みやすい」と回答しており、他の年代に比べて特に30歳代、70歳代以上の方の90%近くが「住みやすい」と回答しています。逆に「住みにくさ」を感じている方は7%でした。定住意向について

いても「住み続けたい」と回答した方が約78%で「移転したい」と回答した方は約9%でした。

結果として住みやすさ、定住意向のどちらも「住みやすい」、「住み続けたい」と感じている方の割合が「住みにくい」、「移転したい」と感じている方の割合を大きく上回り、菺野町で暮らしている皆さんの満足度がわかる結果となりました。しかし一方で「移転したい」と回答した方の理由の約74%が「交通の便が悪い」であり、次期総合計画へも反映すべき課題ではありますが、町では今年度も町内公共交通の再編を計画し、改善を図っています。

## 次期総合計画の「コレカラ」

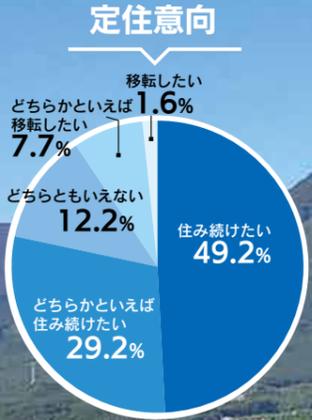


在、町では第5次菺野町総合計画に基づいて町政運営が行われています。そして、令和3年3月に10年間の計画期間を終えます。その計画期間終了後に運用される計画が今回策定が進められている「次期菺野町総合計画」です。

より住みやすいまちとなるよう策定を進める総合計画ですが、その策定には行政だけでなく、住民の皆さんの意見やアイデアが不可欠です。皆さんの新しい意見やアイデアを盛り込み、町と住民が一体となって策定を進めていきます。

### 令和元年度町民アンケートの概要・集計方法

<b>調査対象</b>	令和元年10月8日現在、18歳以上の町民2,000人
<b>調査方法</b>	調査票による本人記入方式、郵送配付、郵送回収
<b>回収件数</b>	1,062件 (回収率53.1%)
<b>調査期間</b>	令和元年10月31日～11月29日



### 町民アンケートの集計結果

その他の令和元年度町民アンケートの集計結果は町ホームページでご覧になれます。

# FUTURE PLANNING コモノのコレカラ。

鈴鹿山脈の麓に流れる三滝川と広がる住宅地。自然とまちの共生が感じられる風景が各所にあり、菺野町のよさを実感できる部分であるかもしれません。